

---

# ZAHYOU.Isp 完全操作マニュアル

このプログラムは、図面を測量座標（公共座標等）へ正確に位置合わせ（ALIGN）し、かつ「文字サイズ」「寸法値」「非表示データ」の整合性を自動で維持する高機能ツールです。

## 1. 主な機能

- 全オブジェクト自動取得: 非表示・フリーズ・ロックされているレイヤーを一時的に解除し、図面内の全データを対象にします（処理後、レイヤー状態は自動で復元されます）。
- 寸法値の完全維持: 図面を縮小・拡大しても、寸法が示す「数値」は変わりません。
- 注釈サイズの自動補正: 文字の高さ、矢印のサイズ、補助線の突出量などを、図面の変更倍率に合わせて自動でリサイズします。
- 文字回転の自動リセット: 位置合わせに伴う図面の回転に合わせて、寸法文字の向きを最適化します。
- 全寸法タイプ対応: 長さ寸法、平行寸法、および3点角度寸法に対応しています。

## 2. プログラムのロード（準備）

初めて使用する場合や、AutoCADを再起動した場合は、以下の手順でファイルを読み込みます。

- AutoCADのコマンドラインに **APPLOAD** と入力して実行します。
- 保存した ZAHYOU.Isp ファイルを選択し、「ロード」ボタンをクリックします。
- 「正常にロードされました」と表示されたら準備完了です。
  - ※頻繁に使う場合は、APPLOAD画面右下の「スタートアップ登録」に入れておくと便利です。

---

## 3. 基本的な操作ステップ

### STEP 1: コマンドの起動

コマンドラインに **ZAHYOU** と入力して [Enter] を押します。

### STEP 2: オブジェクトの選択

- **全体を動かす場合**: 何も選ばず、そのまま **[Enter]** を押します（推奨）。
- **一部を動かす場合**: マウスで対象を**窓選択**します。
- **ポイント**: 非表示・フリーズ・ロック中のレイヤーも自動的に処理対象に含まれます。

### STEP 3: 1点目の指定（図面 → 目的地）

- 「**1点目: 図面上の基準点**」を画面上で**クリック**。
- 「**目的地 X(N)**」を入力（例: -12345.678）。

- 「目的地 Y(E)」を入力 (例: 9876.543)。

#### STEP 4: 2点目の指定 (図面 → 目的地)

- 同様に、2つ目の基準点と目的地座標を入力します。

#### STEP 5: 実行の確定

画面に「計算倍率: ○○倍。実行しますか？」と出ます。

- そのまま **[Enter]** または Y を入力すると処理が開始されます。

---

## 4. 注意点

- 座標の順序: 測量座標系のため、入力は **X=縦方向(N)**、**Y=横方向(E)** です。数学の座標系とは逆になるのでご注意ください。
  - 保存形式: **LISPを編集する場合は、必ず文字コードを ANSI (Shift-JIS) で保存**してください。
-